

平成30年度 市史料館特別展

田沼のまちとむらを歩く—昔の地図を見よう！—

1. 趣旨

今から230年以上前の江戸時代中期、現在の牧之原市に当たる地域を治めていたのは、江戸幕府の側用人・老中として活躍した田沼意次侯でした。それでは、当時の牧之原市は、どのような姿をしていたのでしょうか。

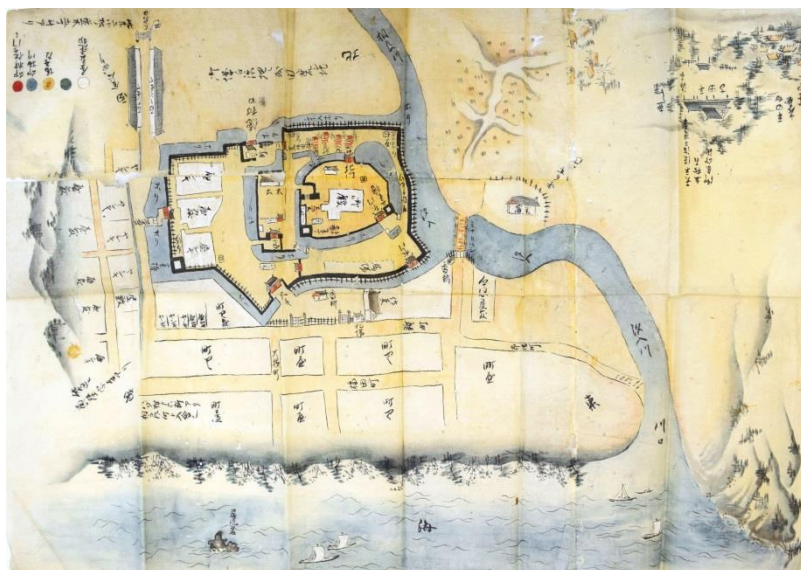
今回の特別展では、来年に控えた田沼意次侯生誕300年を記念して、江戸から明治時代の古絵図・古地図の展示を実施します。“田沼のまちとむら”だった頃の姿を振り返るとともに、「いま」のなかに、「むかし」を発見する旅に出かけてみましょう。

2. 内容

名 称	田沼のまちとむらを歩く—昔の地図を見よう！—
開催期間	平成30年11月13日（火）～12月2日（日） ※月曜休館
会 場	牧之原市史料館（静岡県牧之原市相良 275-2）
開館時間	午前9時00分から午後4時00分まで
入館料	無 料
主 催	牧之原市教育委員会

3. 主な展示品・見どころ

北は坂部から南は地頭方まで、ほぼ市内全域の古絵図・古地図を約40点展示します。一番の見どころは、新たに確認された相良城の絵図です。大阪府の貝塚市で発見されたもので、今回の展示で特別公開（複製展示）します。



貝塚市指定文化財 要家文書「相良城下町絵図」（個人蔵）